

科目区分	基礎科目	科目名	生活とアート		科目コード	10209	担当者	昆正子	
対象学生	全学1年生		学期区分	前期	単位数	2	卒業要件	選択必修	
							免許・資格要件		
科目の主題							成績評価の方法と割合		
美術における表現の喜びや感動を学ぶ							提出物〔作品・レポート〕 (50%) 臨時試験 (30%) 受講態度〔積極的な参加〕 (20%)		
科目の到達目標							教育目標に基づく学修成果の到達目標		
							誠実な人柄と人間力 (尽心)	高度な知性と創造力 (創造)	明確な意志と実践力 (実践)
1.	人間にとっての美術の意義を説明できる						○		
2.	美術に関する基礎的な知識を身につけ、美術作品を読み解く能力を養う						○	○	
3.	自由な発想と多様な表現方法により、表現活動を行うことができる						○	○	
授業方法									
表現と鑑賞の相互関係を基にし、時に実技を絡めながらの講義形式で行う。授業内でプリントを配布する。実技については、個人制作、グループに分かれての活動も実施する。									
準備学修 (予習、復習等に必要な時間または具体的な学修内容)									
○美術に関心を持ち、楽しみながら学ぶ習慣を日頃からつけておくこと。 ○授業の中で適宜、具体的な内容について指示する。									
授業計画									
第1回	オリエンテーション (授業の説明)								
第2回	美術の鑑賞①								
第3回	美術の鑑賞②								
第4回	美術の鑑賞③								
第5回	美術の鑑賞④								
第6回	作家・作品研究								
第7回	小テスト								
第8回	美術教育とは何か								
第9回	作品にみる色と形の表現 (色・線・形)								
第10回	作品の中の素材と技法—しかけ・視覚効果について								
第11回	見る楽しさ—ポップアップカードを作る (1)								
第12回	見る楽しさ—ポップアップカードを作る (2)								
第13回	コラージュによる不思議な世界 (1)								
第14回	コラージュによる不思議な世界 (2)								
第15回	暮らしの中のアート—意義と役割 (まとめ)								
教科書・参考書					受講生へのメッセージ				
教科書は使用しない 参考書については適宜紹介する					問題意識をもって受講してほしい。 材料用具は個人負担であり、準備物は不可欠である。また制作に必要な時間には個人差があり、作品完成のために時間外での制作を必要とする。県内の美術館や博物館で見学会を実施する場合は、授業を土曜日または日曜日に振り替えて実施する(現地集合・現地解散、要展覧会観覧料)。				